

教科名(音楽)

鵬DP評価表(教科用)		評価基準				
	鵬DPとその定義 点 数	S(応用) 5点	A(つながり) 4点	B(考え) 2点	C(入口) 1点	合計
DP	再認識力	学んだ知識や技能、音楽を愛する心情を基に、校内外で音楽活動に生かしたり、校外の演奏会に参加し、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力が身についている	学んだ知識や技能、音楽を愛する心情を基に、校内外で音楽活動に生かし、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力が身についている	学んだ知識や技能、音楽を愛する心情を基に、校内での音楽活動に生かし、学校生活中の音楽と関わる資質・能力が身についている	学んだ知識や技能、音楽を愛する心情を基に、授業内での演奏に生かし、音や音楽と関わる資質・能力が身についている	
定義	・考えたり、振り返ったりできたり、得た知識や技能を応用できる力					
DP	情報収集力	表現・鑑賞に必要な知識や技能を、様々な資料、メディアや公共施設、演奏会等、または言葉によるコミュニケーションから収集することができる	表現・鑑賞に必要な知識や技能を、様々な資料、メディア、または言葉によるコミュニケーションから収集することができる	表現・鑑賞に必要な知識や技能を、様々な資料、メディア等から収集することができる	表現・鑑賞に必要な知識や技能を、様々な資料から収集することができる	
定義	・調べるための手段や対象を適切に設定できる力					
DP	問題発見力	自己や他者の演奏を音楽の諸要素に基づき、的確に分析し、課題や新たな視点を自ら発見できる	自己や他者の演奏を音楽の諸要素に基づき、課題や新たな視点を自ら発見できる	自己や他者の演奏を音楽の諸要素に基づき、課題や新たな視点を他者と協同で発見できる	自己や他者の演奏を音楽の諸要素に基づき、課題や新たな視点をアドバイスを受けながら発見できる	
定義	・課題を的確にとらえたり、捉えた課題から新たな視点や発見ができる力					
DP	分析力	楽曲や演奏を音楽的な見方や考え方を働かせて、曲想を感じ取りながら、音楽や音楽によって喚起された自己のイメージや感情を、音楽の構造や文化的・歴史的背景などと関わらせて捉え直し、その音楽の意味や価値などについて分析できる	楽曲や演奏を音楽的な見方や考え方を働かせて、曲想を感じ取りながら、音楽や音楽によって喚起された自己のイメージや感情を基に、その音楽の意味や価値などについて分析できる	曲想を感じ取りながら、音楽や音楽によって喚起された自己のイメージや感情を基に、その音楽の意味や価値などについて分析できる	音楽や音楽によって喚起された自己のイメージや感情を基に、その音楽の意味や価値などについて分析できる	
定義	・論理的に思考できたり、データの特徴を的確にとらえることができる力					
DP	共感力	個々の音楽の特徴を捉え、さらに複数の音楽を比較したり関連づけたりするなどして、それぞれの音楽の共通性や固有性を捉え、理解できる。	個々の音楽の特徴を捉え、それぞれの音楽の共通性や固有性を捉え、理解できる。	個々の音楽の特徴を捉え、それぞれの音楽の固有性を捉え、理解できる。	個々の音楽の特徴を捉え、理解できる。	
定義	・自分の意見を主張するだけでなく他者の意見や感情を理解することができ、さらにいろいろな意見を総合してよりよいものを想像することができる力					
DP	表現実行力	①音楽表現をするために必要な技能を身につけ、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫できる。②楽曲や演奏について、音楽の諸要素に基づき素晴らしさや課題を的確に分析し、的確なことばを用いて説明できる。	①音楽表現をするために必要な技能を身につけ、音楽表現を創意工夫できる。②楽曲や演奏について、音楽の諸要素に基づき的確に分析し、的確なことばを用いて説明できる。	①音楽表現をするための基本的な技能を身につけ、音楽表現を工夫できる。②楽曲や演奏について、的確なことばを用いて説明できる。	①音楽表現をするための基本的な技能を身につける。②楽曲や演奏について、ことばを用いて説明できる。	
定義	・物事を他者に伝えられたり、実際に行動につなげる力					